

# 令和2年度 第2回若い教師と共に学び合う自主セミナー 実施報告

【実施日時・場所】 令和2年11月21日（土）13:00～17:00 @福島大学附属小学校

参加者17人（小学校9人，大学生5人，大学教員3人）

【テーマ】「子どもの姿」で考える毎日の授業づくりで大切にしたいこと

第1回では、授業づくりで大切だと思う「育みたい資質・能力」や「子どもと自然の事物・現象との出会いの工夫」等の視点を基に、単元を構想していきました。第2回では、構想した単元を実際に授業し、その時に見られた子どもの姿を語りました。そして、先生方で共有したからこそ見えてきた、授業をつくる上で大切にしたいことを報告していきます。

【セミナーの様子】

## ○ 『子どもの姿』を基にした授業の振り返り（演習）

前回のセミナーで構想した単元をそれぞれの学年で振り返っていきました。構想は同じでも、やはり目の前の子どもたちが変わればその授業は全く別の物になります。今回の演習では、授業でうまくいった場面ではなく、想定外や対応に困った子どもの姿を動画資料として提供してもらいました。紹介し合うと「分かる！わたしのクラスにもそういう子がいたよ」「あっ、その働きかけは効果的だったのですね？わたしのクラスでは、難しかったのかな」と、各学級での授業における共通点や差異点が見えてきました。そしてその姿が見られた要因を話し合うことで、授業づくりにおいて大切にしたいことや今後の授業にどう生かしていくのかについて考えてきました。



## ○ 各チームの学びの共有・協議



協議では、各学年で話し合った「授業づくりにおいて大切にしたいこと」を発表し合い、協議を深めました。第3学年からは「子どもたちに提示する教材」と「自然の事物・現象と子どもたちのイメージとをどのようにつなげていくのか」がキーワードとして出てきました。第6学年からは「教師の構え（子どもの発言をつなげるために子どもの話をよく聞く）」と「モデル実験やプログラミング活動を実際の事象とどのようにつなげる」かがキーワードとして出てきました。子どものエピソードがあるからこそ、改めて気付く視点がどちらのグループからも出てきました。

## ○ まとめ

今回、授業の振り返りをしていながら授業づくりで大切な視点を改めて考えることができました。その中でも「目の前の子どもたちが」という視点で先生方が授業をつくるだけでなく、次の授業に向けての振り返りを行っているのだということも分かりました。また、参観した大学生からは「話についていくことができず悔しかった」という感想をいただきました。若い先生たちが本気になって子どものことを考えようとしていると、現職の先生方には刺激になりました。今後は、それぞれの学校の中でも、目の前の子どもの姿を基に、同僚の先生方と語り合える雰囲気をつくっていきなるといいなと思いました。